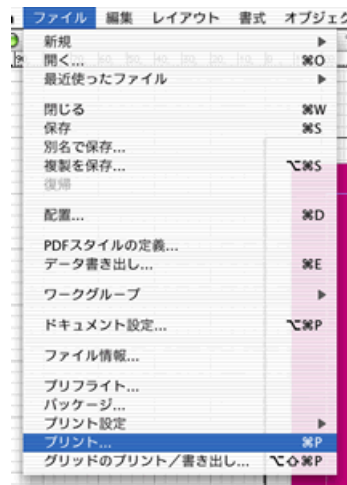


注意 InDesign 2.0
日本語版専用
です。

本書の図(キャプチャ)はMac OS X上のもので
すが、Mac OS
8/9、Windowsと
も項目は同じで
す。

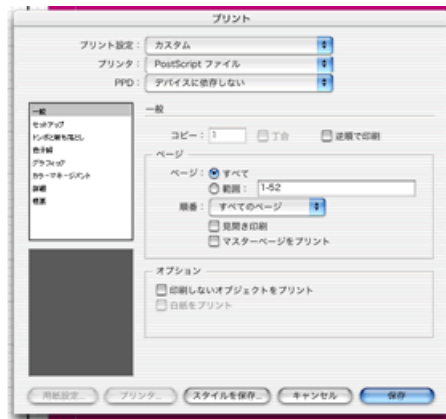
InDesign 2.0 日本語版PSファイルの作り方

「デバイスに依存しない」PSファイルを書き出す(1/3)



●InDesign日本語版でおすすめできるPSファイルの書き出しは、「プリント」→「デバイスに依存しない」PSファイルの書き出しです。

※InDesign 1.0にあった「プリプレスファイルの書き出し」の項目はありません。左のメニューのように、「ファイル」→「プリント」からPSファイルを書き出します。



「プリント」を選択すると、左図のプリントダイアログが出てきますので、「プリンタ」を「PostScriptファイル」、「PPD」を「デバイスに依存しない」に設定します(下図)。



[次へ](#)



InDesign 2.0 日本語版PSファイルの作り方

「デバイスに依存しない」PSファイルを書き出す(2/3)

以下設定項目について解説します。

[1/7]一般

特に設定する項目はありません。

[2/7]セットアップ

(設定できません)

[3/7]トンボと裁ち落とし

トンボとページ情報のチェックボックスにチェックしないでください。

また、裁ち落としは必要な分だけ設定してください。裁ち落としを適切に設定しないと、裁ち落とし部分のデータが出力されません。

[←戻る](#) | [次へ→](#)



InDesign 2.0 日本語版PSファイルの作り方

「デバイスに依存しない」PSファイルを書き出す(3/3)

[4/7]色分解



必要に応じて設定します。

[5/7]グラフィック



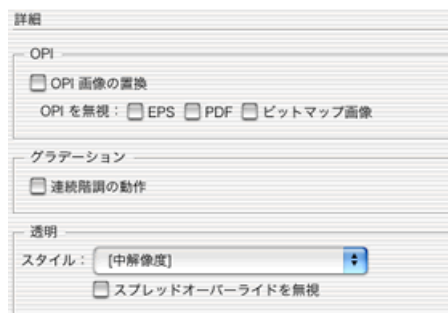
PostScriptのレベルは「2」、データ形式は「バイナリ」に設定します。

[6/7]カラーマネージメント



(設定できません)

[7/7]詳細



必要に応じて設定します。

以上で設定は終わりです。「保存」を押してPSファイルを保存してください。

※ファイル名には末尾に、「.ps」か「.PS」を拡張子として付加してください。つけないとX-Plateで認識できません [Mac版]。

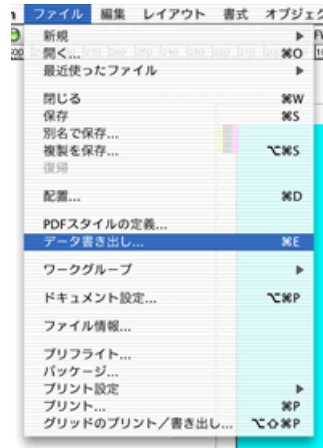
[←戻る](#)

注意 InDesign 2.0
日本語版専用
です。

本書の図(キャプチャ)はMac OS X上のもので
すが、Mac OS
8/9、Windowsと
も項目は同じで
す。

InDesign 2.0 日本語版PDFファイルの作り方

PDFファイルを書き出す(1/2)

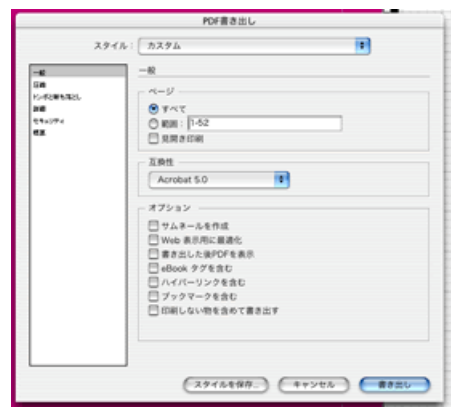


InDesign日本語版では、「ファイル」-「データ書き出し」から直接PDFファイルを作成することができます。



「データ書き出し」(上図)を選択すると、「書き出し」ダイアログがあらわれます。「形式」を「Adobe PDF」とし、保存するフォルダとファイル名を決めて「保存」をクリックします。

※ファイル名には末尾に、「.pdf」か「.PDF」を拡張子として付加してください。つけないとX-Plateで認識できません[Mac版]。



左図のPDF書き出しダイアログがあらわれます。各項目については次ページで詳しく解説します。

[次へ](#)



！ 関連リンク

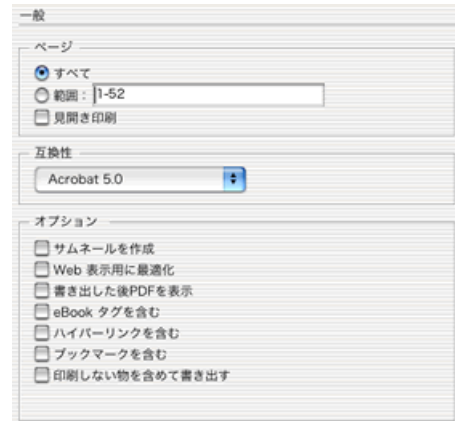
- 裁ち落とし幅を 0mmにする理由

InDesign 2.0 日本語版PDFファイルの作り方

PDFファイルを書き出す(2/2)

以下設定項目について解説します。

[1/5]一般



オプションのチェックボックスのチェックは全て外します。

[2/5]圧縮



使用環境に応じて設定します。

[3/5]トンボと裁ち落とし



トンボとページ情報のチェックボックスにチェックしないでください。

また、裁ち落としは**各辺必ず0mmに設定**してください。

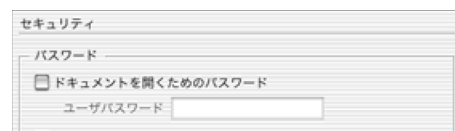
※裁ち落とし幅を0mm以外にすると、面付け時ページがずれます。

※裁ち落とし幅を0mmにしても、FACILIS側で裁ち落としを設定すれば裁ち落とし部分のデータが出力されます。

[4/5]セキュリティ

セキュリティは設定しないでください。

設定した場合、X-PlateでPDFファイルを開くことができなくなります。



- 印刷を許可しない
- 文書の変更を許可しない
- 内容のコピーや抽出を許可しない、アクセシビリティを無効にする
- 注釈とフォームフィールドの追加や変更を許可しない

[5/5]詳細

必要に応じて設定します。

詳細

カラー

カラー:

先のプロファイル:

ICC プロファイルを含む

オーバープリント処理

フォント

サブセットの全フォントに対する割合:

注意: 使用されている埋め込み可能フォントは取り除かれます。

OPI

OPI を無視: EPS PDF ビットマップ画像

透明の統合

スタイル:

スプレッドオーバーライドを無視

これで設定は終わりました。「書き出し」をクリックして書き出します。

[←戻る](#) |